

令和8年8月下旬の大雨被害に対する水稻の技術対策 Ver 2

氷見市農業技術者協議会

8月26日から30日にかけての大雨により、①水稻作付ほ場の冠水や土砂等の流入、②畦畔や農道法面の崩壊、③コンバインやトラクタ、乾燥機への浸水等が見られました。
このため、安全面に十分留意され、下記対策の実施についてお願い致します。

記

1 作業安全の確認

- ①降雨により、地盤が緩んでいることが想定されるため、ほ場にコンバインやトラクタを搬入する際は、農道や搬入路、畦畔沿い等の安全を事前確認する。
- ②作業にあたっては、水分補給等熱中症対策を取り、体調管理をしっかりと行う。
- ③機械・設備等で異変があった場合は、即停止し販売店等に連絡する。

2 刈取り作業

- ① 収穫を始める前に、水田内に流入物がないか確認する。ただし、ほ場に木の枝や金属片などが溜まっており、コンバインの故障が心配される場合は収穫を控える。
- ② 被害を受けているほ場の収穫を行う場合は、事前に農業共済組合に確認する。
- ③ 冠水や倒伏により米の品質への影響が懸念されるほ場の稲は、他のほ場の稲とは区別して収穫、乾燥するなど、全体の品質を下げないようにする。

3 乾燥・調製作業

- ①倒伏した稲は籾水分が高いため、収穫後は速やかに乾燥機に張り込む。また、胴割粒の発生防止のため、数時間、通風を行ってから火力乾燥を行う。

4 収穫できなかった稲の鋤き込み

収穫できなかった稲をそのままほ場に放置しておくと、翌年度ワキが発生しやすくなるため、鋤き込みが可能なほ場では、以下に留意しできる範囲で作業を行ってください。

- ①稲や土が濡れた状態で鋤き込んでしまうと、土を練ってしまい排水性がさらに悪化するため、事前に溝切りを行う。

- ②長いままの稲はトラクタのロータリに巻き付いてしまうため、モアを準備できる場合は稲を裁断した後に鋤き込む。
- ③ 稲わらや籾の分解を促進するため、10月中旬までには鋤き込みを終える。

○収穫が出来なかったほ場における以降の対応については、別途情報を発信します

○収穫作業について不明な点や確認が必要な場合は以下までご連絡ください

・ 共同乾燥施設（カントリーエレベーター）を利用される方

JA 氷見市各支店

氷見余川谷地区 比美乃江支店 電話：(0766) 74-8750

西條地区 西條支店 電話：(0766) 91-1245

十三・神代地区 南部支店 電話：(0766) 91-1255

上庄谷地区 西部支店 電話：(0766) 74-1257

灘浦・八代地区 北部支店 電話：(0766) 74-8770

・ その他のお問い合わせ

高岡農林振興センター 電話：(0766)-26-8481